

令和5（2023）年度 第3回かしわざきこども大学運営協議会 議事録

- \* 日 時 令和6（2024）年3月19日（火） 午後6時30分～午後7時45分
- \* 会 場 柏崎市役所 4階 4-3・4-4会議室
- \* 出席委員 9名 佐藤幸治委員、前澤佳奈子委員、蓮池純夫委員、八木千代子委員、遠山みちる委員、松谷久美子委員、川本浩子委員、土田由紀委員、猪爪拓也委員
- \* 欠席委員 1名 片桐秀樹委員
- \* 事務局 7名 宮崎靖彦教育部長、【学校教育課】矢沢欣也課長、田中雅樹課長代理、平野克之副主幹、横田則子主査【保育課】笹川洋課長代理【商業観光課】土田洸希主事

1 開会 司会：田中課長代理

2 挨拶 佐藤会長

3月になり、子どもたちは卒園式、卒業式、高校入試の時期を迎えている。先週は、中学校の修学旅行も行われた。各所で年度末のまとめ、次年度の計画を進めているところである。

第3回運営協議会では、令和5（2023）年度のまとめと令和6（2024）年度事業計画の提案等が予定されている。委員それぞれの立場で皆さまからの積極的な御意見をよろしく願いたい。

3 議事 進行：佐藤会長

(1) 令和5（2023）年度 事業実施状況について

ア 自然体験コース 【横田主査】 資料1

今年度は、計29園の保育園・幼稚園及びはまなす特別支援学校の中学部の皆さんが、自然体験コースを実施した。インフルエンザの流行などから日程変更した園も2園あったが、概ね計画通り実施できた。参加園・学校から実施報告書の提出を受けたので、取りまとめたものを来年度作成する「実施報告書」に掲載したい。また、参加園・学校からは自然体験活動を実施し、充実した時間を過ごせたと高評価をいただいている。

イ キャリア教育コース 【土田主事】 資料2

前回の第2回の会議での報告後、瑞穂中学校、第二中学校、東中学校でキャリア教育コースを実施した。感染症の流行による学級閉鎖等の影響はなく、計画どおり実施することができた。アンケート結果では、全体を通して、仕事に対する意識について「やりがいがありそう」「面白そう」とプラスに変化したことが読み取れる。参加した生徒に限らず、保護者サポーター、先生方からも全体的に高評価をいただいている。

ウ ロボット工作コース 【横田主査】 資料3

各学校でのクラブ活動は、大洲小学校、日吉小学校、二田小学校の3校で実施した。

2月17日（土）に市民プラザにおいてロボット工作教室を開催し、12名の児童が参加した。新潟工科大学の大金准教授と学生7名が講師となり、製作のサポートを行った。午前、午後を通しての長丁場だったが、子どもたちは集中力が途切れることなく、夢中でロボットの製作に取り組んでいた。工具を使つての細かい作業であったが、参加者全員が

ロボットを完成させ、競技会に向けて各自が趣向を凝らしたアレンジを加えていた。参加者は、在籍小学校が異なる児童が多かったが、一日を過ごす中で夕方にはそれぞれが打ち解けて和やかな雰囲気の中で、競技会が行われた。事後アンケートでは、参加児童全員が、「とても楽しかった。」と回答している。難易度を問う設問では「難しかった」と「とても難しかった」との回答が多く、少し難易度は高かったものと思われる。

エ 学校教育活動推進事業 【横田主査】 資料4

学校教育活動推進事業は、市内の小中学校の全校が実施した事業になる。各学校で実施した事業の内容については、資料4の事業報告書の記載のとおりである。各学校で特色のある取組を行っている事業であるので事業報告書で確認をお願いしたい。

オ こどもの笑顔創造プロジェクト 【横田主査】

今年度は、10団体が事業を実施しており、現在実績報告書の提出がされているところである。来年度の第1回の会議では、令和5（2023）年度の各実施団体の実績を報告させていただきたい。

－質疑・応答－

【委員】 キャリア教育コースの「いきいきゲーム」についても「ロボット工作教室」と同様に子どもたちの学びの場のチャンスとして公募型の企画はできないか。

【事務局】 「いきいきゲーム」を公募型で実施することは可能かもしれないが、資材の調達等の問題で参加人数を早めに確定しなければならぬことやスタッフ的にもサポーターの人数確保等の課題がある。しかし、公募型で実施することが可能かどうかを今後検討してみたい考える。

【委員】 家庭教師の日々の中で、子どもたちはネットゲームをよくやり、その課金が問題となっている現状がある。今話題となっているeスポーツをテーマとしてコースを企画してみてもどうか。子どもたちにeスポーツが仕事として成り立つものなのかを教える場としてもよいと思うので提案する。

【委員】 eスポーツに特化したコースとしてとの提案であるが、eスポーツは確かにいいスポーツだと思うが、個人的には汗を流すスポーツの方がよいと感じる。

【委員】 「eスポーツとは何ぞや」くらいの簡単なものでもよいので、職業として成り立つのかを含めてキャリア教育コースの中で取り組んでみてはどうか。

【事務局】 eスポーツは、最近のトレンドでもあるし、子どもたちのためにもなるので、一つの意見として受けとめて今後の参考としたい。

【委員】 ロボット工作教室について、集中して製作するようなものだけでなく、昔、自分もロボット競技をライブ感のある中で盛り上がったことがあるので、もっと広くワクワクするような企画にしてはどうか。子どもたちの気持ちを誘うようなものにならないかなと感じた。

【委員】 長岡高専のロボットコンテストのような感じのライブ感のある盛り上がり期待できるものを企画してみてもどうかという提案である。今後のロボット工作教室の中で工夫してみてもどうかということで検討してほしい。

【委員】 ロボット工作クラブが今年度で終了することについて、各学校に伝えた時の学校の捉えられ方、反応はどうであったか。

【事務局】 今年度実施の3校は残念がっている様子であったが、年間のクラブ活動の回数が縮小傾向にある昨今においては、致し方ないかなという捉えであったと感じた。

(2) かしわぎき子ども育成基金 寄附状況について 【横田主査】 資料5

今年度のかしわぎき子ども育成基金への寄附状況について報告する。毎月、東芝エネルギーシステムズ株式会社様から自動販売機による売上金の一部金額の寄附をいただいている。また、6月に山田工業株式会社様から100万円、9月に北日本エンジニアリング株式会社様から20万円の寄附をいただいた。12月には、匿名の個人の方から400万円、寄附をいただいた。皆様からの温かい御寄附を、かしわぎきこども大学の資金として有効に活用させていただく。

－質疑・応答－

【委員】 12月の匿名の方からの400万円の御寄附は「かしわぎきこども大学」のために使ってほしいとのことだったのか、柏崎市で使ってほしいというものだったのか伺いたい。

【事務局】 実際には8月に御寄附をいただいたものである。故人のご遺族からの寄附申込みであり、故人の御遺志から「子どもたちの活動のために寄付したい」とのことであった。教育委員会として検討し、12月補正予算を経て「かしわぎき子ども育成基金」に積み立てさせていただいた。

(3) 令和6（2024）年度 実施予定事業について

ア コース全体について 【事務局】 資料6

令和6（2024）年度実施予定事業については、前回11月の第2回会議での検討結果を踏まえ、令和6（2024）年度の予算案として議案を提出し、議会にて現在審議が行われている。議会での承認後、速やかに各コースの実施に向けた準備を進めていく予定でいる。前回、11月の会議での検討結果を踏まえて修正した事項は、「自然体験コース」のバスの借上料を900,000円としていたが、見積書を徴収した結果、価格が上昇し、1,050,000円に修正した。また、「エネルギーのまち、柏崎探求コース」の講師謝礼を18,000円から13,000円、消耗品費を32,000円から20,000円に減額し、参加者用資料と広報チラシの印刷経費として複写機借上料12,000円を追加した。その他、「歴史・文化財探検コース」については、歴史、文化財の見学と併せて工場見学等も取り入れた社会科見学の要素も含めて実施したいと考え、名称を「柏崎のまち探検コース」と修正し、内容については、現在協議中である。

－質疑・応答－

【委員】 「柏崎のまち探検コース」はどこの課が担当するのか。

【事務局】 現段階では、学校教育課が主管する事業として実施予定である。必要に応じて、博物館の学芸員から協力を得たいと考えている。

【事務局】 11月の会議では「柏崎は歴史・文化だけじゃないよね」という御意見をいただき、来年度の3・4年生の社会科副読本の改訂と連携して産業等も含めた社会科見学のよき事業にシフトチェンジした。また、よいアイデア等があれば各委員からお聞かせ

いただきたい。

- 【委員】 キャリア教育コースについて、教えていただきたい。また、高校生に資格受験を勧められている。実際には資格受験をせずとも得られる資格がたくさんある。中学生の後半くらいから、キャリア教育の一環として資格取得について取り入れてはどうか。
- 【委員】 中学校のキャリア教育については、一般的には、1年生は「職業を知る」、2年生は「職場体験」、3年生は「進路実現」として実施されている。
- 【事務局】 「いきいきゲーム」は、社会の仕組みを理解することを目的としたゲームである。それぞれのチームごとに不平等の条件の中で、生徒が主体性をもって取り組むゲームとなっている。
- 【委員】 生徒にお金の価値観を教えることはとてもよいことだと思う。また、今株価が上がっているが、それが破綻しかねない。そのようなことを学ぶのによりゲームだと思った。
- 【委員】 「いきいきゲーム」を体験した後で、不平等に憤る生徒はいないのか。
- 【委員】 ネタばらしのあと、不平等に感じる生徒はいるが、ゲームが2回あるので、2回目に工夫して頑張ることもある。
- 【委員】 「いきいきゲーム」にサポーターとして2回、参加したことがある。6年間のブランクを開けての2回目だったが、生徒たちは、協力しながら頑張っていた。
- 【委員】 私自身が「いきいきゲーム」に参加したいと感じた。「いきいきゲーム」を体験することは可能か。
- 【事務局】 保護者のサポーターが足りなくて、地域の有志にお願いすることもあるかもしれない。見学については、学校との相談になるので確認する必要がある。
- 【委員】 「エネルギーのまち、柏崎探求コース」と「柏崎のまち探検コース」の新しいコースについて、「柏崎のまち探検コース」の方はバス代だけだが大丈夫か。あるいは、2つのコースを合体して実施してはどうか。
- 【事務局】 ご指摘の通りだと思う。新規事業ということで、計画していく中で運用上の融通は対応させてもらうかもしれない。今の企画段階ではコースを分けているが、計画を進めていく中で検討していきたい。
- 【委員】 「ものづくり工作教室」について、新年度は40万円の予算で1回の事業実施ということか。
- 【事務局】 令和5（2023）年度は、「ロボット工作クラブ」「ロボット工作教室」の経費として100万円の予算であったが、令和6（2024）年度は「ロボット工作クラブ」が終了したので、「ロボット工作教室」の経費として40万円の予算で実施したい。
- 【委員】 「ロボット工作教室」に1回参加して「楽しい」と思った児童が、新潟工科大学の見学や体験へとつながるような、単発の事業ではなく、次につながる継続した事業展開ができる工夫があるといいなと感じた。
- 【委員】 「国際交流コース」の中で「友好都市交流事業の再開」とあるが、このことについて説明してほしい。
- 【事務局】 友好都市交流事業は、商業観光課の事業であり、中国の峨眉山市や淮安区との友好都市としての交流事業である。近年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中断していたが、コロナ禍を経て再開の方向で話を進めている。かしわざきこども大学としても、その事業と連携して事前学習、事後報告会等を行い、子どもたちが国際理解

を深められればと考えている。

【委員】 先ほどの「キャリア教育コース」での事業の見学についての話があったが、それぞれの事業についても委員が見学できる機会を設けて、紹介してもらえるとありがたい。

【事務局】 以前は、委員から事業を見学してもらおう機会があったと思う。委員からの意見を踏まえて、今後見学できる機会を設けることを検討していきたい。

イ 令和6（2024）年度こどもの笑顔創造プロジェクト応募団体について 【横田主査】  
資料7-1, 7-2

令和6（2024）年度の「こどもの笑顔創造プロジェクト」に応募申請した実施希望団体は、9団体になる。資料7-1の一覧表に中学校区別にまとめてあるので、確認いただきたい。また、令和6（2024）年度の新規応募団体は1団体になる。なお、各応募団体から提出された提案書は、資料7-2のとおりである。

本日の会議で、実施希望団体の提案内容を審議していただき、承認の可否についての決定をお願いしたい。

【委員】 異議なし、承認。

#### 4 連絡事項 【事務局】

(1) 今後のスケジュールについて

今年度の会議は、今日で最終となる。

また、来年度は2年任期の2年目になるが、引き続きよろしくをお願いしたい。

なお、来年度の第1回会議は、6月に開催する予定である。

#### 5 閉会 宮崎教育部長

新型コロナウイルス感染症が昨年の5月に5類に移行したため、予定通り事業を実施できた。新規事業も提案させていただいたが、慎重なご審議をいただいた。ありがとうございました。「エネルギーのまち」や「柏崎の歴史・文化・産業」等に関しては、保護者の皆様からも知っていただきたい内容もある。会の冒頭に会長から卒業式の話があったが、多くの子どもたちから柏崎を好きだと言ってもらえるような「まちづくり」を進めていきたい。